

(委員)

アスパシアにおいて山城中学校の1年生を対象に探求の講座を開催されたと思うが、それは公民館講座として開催されたのか。

(事務局)

社会教育課の事業ではなく、公民館講座でもない。

(委員)

アスパシア独自の事業である。

(委員)

講師が関東の方なので、講師料が高かったのではないかと気になった。

(委員)

館長が知り合いの方を通じて、来ていただいたようである。

(委員)

企業・団体の登録制度の話があったが、磯矢硝子以外に他何社登録があるのか。

(事務局)

7、8件である。

(委員)

生きがい大学であるが、参加者同士の交流がないため、交流できるようなカリキュラムを考えてほしい。是非、子ども教室の体験のカリキュラムを検討していただきたい。

(委員)

スポーツの話になるが、各新聞にスポーツ大会の結果を掲載してもらえる枠があるので、是非、活用して情報提供してはどうか。

また、木津川市には立派な中央体育館があるので、各競技の全国大会や近畿大会の会場として使用していただき、子ども達にスポーツを見る機会を与えていただきたいというのがお願いである。

(委員)

生涯学習推進計画の3ページにPDCAサイクルの関係で、計画の推進体制の欄に生涯学習担当課が中心となって関係各課と連携しながら進捗状況の確認や効果の把握等を行うとなっているが、庁内でどのようにして確認や進捗状況を把握しているのか。

この資料については、庁内で共有しているのか。また、ホームページに公開する予定はあるのか。

(事務局)

この資料を作るにあたり、社会教育課の取り組みだけではなく、例えば、6ページ目の(4)リーダーの養成のところでは、認知症サポーター養成講座や食生活改善推進員養成講座のように社会教育課以外が所管をしている生涯学習に繋がる取り組みについても網羅をしているところである。そういったところも含めて今後進捗管理をしていかないといけない。以前に報告させていただいた「生涯学習に関する取り組み状況調査」については、継続して行い、社会教育課として全庁的にどういった取り組みがどれだけ進んでいるのかということをし、しっかり把握していきたいと考えている。その調査結果を全庁にフィードバックをすることで、重複する事業や類似する事業があれば、協力することで相乗効果が得られそうな事業、そういったところを各担当課で洗い出して、取り組みを進めていただきたいと思っているが、今後、各担当課において、取り組み

が自発的に進んでいかないようであれば、社会教育課が主導して進めていく必要がある。取組状況調査については、毎年実施し、この会議においても報告をさせていただき、その報告を受けて、こうした方がよい等のアイデアがあれば、また教えていただきたいと考えている。

次に、この資料については、全庁的に共有をする、またホームページで公開することは考えていない。社会教育課が生涯学習施策を進めていくにあたり、社会教育の取り組みを点検していただくための社会教育委員会内での資料として活用していきたいと考えている。市民向けにフルオープンにするには、もう少し内容も検討する必要があるため、今年は、このような枠組みさえないところから始まったので、来年度以降どうするのかについては、またご意見を頂きたいと考えている。

(委員)

庁内で情報共有をすることは大事だと思うので、例えば部長会で報告したり、教育委員にも知っておいていただく必要があると思う。

資料としては、令和7年度までの取組みということで、6年度分と7年度分の前半部分を一括していると思うが、これは毎年報告することなので、7年度取組みとして、また作成するというように理解している。

3ページの「学習内容の充実」については、計画では地域的課題や現代的課題に対応した学習内容の設定になっているが、これに対応していないといけなくて、「コーヒーの世界を知ろう」等だけの記述だけでは弱いと思う。また、現在の課題については、なしとなっているが、アンケート結果でも希望する講座がないと書かれている中で、ここで課題なしとは言いにくいのではないかと思う。実際、防災関係や歴史文化の関係も行っておられるので、何か例を書くべきである。これでは課題はないという誤解を与える可能性があるため、もう少し意欲的に書いて、それに対して今後の方向性を検討していくことになると思う。

(5) 生涯学習施設の整備については、この通りだと思うが、「現在の課題」のところ、施設の充実には既存施設の統廃合など、抜本的な対策が必要であるとあるが、施設の充実イコール既存施設の統廃合と勘違いする恐れがあるので、そこまで書かなくとも良いのではないかと思う。

(事務局)

これについては、木津川市全体の方針として、公共施設総合管理計画の中で、例えば交流会館であれば、3館あるものを2館にするという統廃合の方針が示されている。全庁的な整合性の中で、このように書かせていただいている。

(委員)

それなら市の政策に基づいて、生涯学習施設の整備でも課題ですというような一言を入れてはどうか。そうでないと変な誤解を受ける可能性があると思う。

(事務局)

そういう事もあるので、この資料は公表を前提にしていない。

(委員)

情報公開の対象にもなるので、丁寧に入れておいた方がよいと思う。

(事務局)

今年は、どこまでの資料を作るのかという事が分からない中で、4月以降ご意見をいただきながら一旦この形になった。これで情報が多いのか少ないのか様々あると思うので、令和8年

度に入れば、また議論していただきたいと考えている。

(委員)

議論というか、まず市の方で検討いただいたら良いと思う。

(委員)

みなさん他にも意見があると思うが、今日は、この会議のあともあり、時間がないので、次回の会議でこの続きをやってはどうか。

(委員長)

それでは、次回の会議で、この続きをやることとします。

②全国社会教育研究大会岩手大会の報告について

10/30、31に岩手県盛岡市で開催された全国大会について、出席された河原委員から報告書を基に、講演及び分科会等についての感想の報告があった。

③京都府社会教育研究大会の報告について

11/21に京田辺市中央公民館で開催された京都府の研究大会について、出席された渡邊委員、武田委員から講演会及びグループワーク等についての感想の報告があった。

④部会(計画実践部会・施設運営部会)からの報告について

両部会共に4回目の部会を開催し、協議内容について、各部会長から報告があった。

◎計画実践部会 11月13日(木) 庁舎北別館にて開催

木村部会長から次のとおり報告があった。

放課後子ども教室、地域学校協働本部、コミュニティスクールの状況について、社会教育課の担当者から説明を受けた。

放課後子ども教室については、9月は暑さ指数が高いということから前半は中止となった。11月、12月は、インフルエンザの関係で、棚倉小学校、城山台小学校で学級閉鎖があり中止となった日もあるが、その他は、計画通り進めていただいたようである。来年度開設予定の恭仁小学校、加茂小学校の件については、これまでの状況について説明を受けたが、ボランティアが集まらない等のことから、来年度の開設は無理という判断になったようである。令和9年度に向けて来年度はトライアル教室を行う予定のようである。

地域学校協働活動については、今のところ順調に進めてもらっており、先ほど話が合った企業団体の協力募集で登録された団体の一覧表をもらっている。

コミュニティスクールについては、現在3校であるが、来年度は市内の小中学校全ての学校において開設される予定である。

◎施設運営部会 12月5日(金) 女性センターにて開催

三上部会長から次のとおり報告があり、その後、参加した委員から一言ずつ感想を述べた。

女性センターについては、木津町時代、女性管理職の松井さんという方の案で計画されたようであり、ゆったりとした空間、調理室の広さ、保育室の設備等、女性の目線で計画された施設だと関心して見ていた。

女性センターという名称から男性が遠のいてしまうので、委員からは通称名を考えてはどうかという提案があった。

3. その他

次回会議の日程調整を行い、2月25日(水)午後1時30分から開催することとなった。

次回の会議では、南加茂台地域おこし協力隊の栗本さんから活動報告のお話をいただく予定である。

4. 閉会

三上副委員長から閉会の挨拶があった。

以上

その他特記事項	なし
---------	----